

## 平成 28 年度 南信州地域交通問題協議会 総会 議事録

### <概 要>

日 時：平成 28 年 6 月 29 日（水） 10:00～11:30

会 場：県飯田合同庁舎 3 階講堂

出席数 39 名、委任状により出席とみなされた者 7 名、委員総数（現在数） 41 名  
（P 4～6 参照）

### <協議事項>

- (1) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び決算報告について
- (2) 第 2 号議案 平成 28 年度事業計画（案）及び予算（案）について
- (3) 第 3 号議案 地域公共交通確保維持改善事業「生活交通確保維持改善計画」について  
ア 飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）  
イ 松川町（松川町地域公共交通対策協議会）  
ウ 阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）  
エ 阿智村（阿智村地域公共交通協議会）  
オ 根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会）  
カ 喬木村（喬木村地域公共交通会議）  
キ 豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）  
ク 大鹿村（大鹿村地域公共交通会議）

### <報告事項>

- (1) 平成 27 年度運行実績報告について（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）
- (2) 定期券、バス・乗合タクシー回数券販売実績について（                   "                   ）

- ・議事に入る前に、委員変更について南信州地域交通問題協議会事務局より説明。
- ・議事録署名人に豊丘村堀越区長武田勝氏及び阿智村活性化委員長熊谷好泰氏が選任された。

### <協議内容>

- (1) 第 1 号議案：平成 27 年度事業報告及び決算報告について
  - ・第 1 号議案について、南信州地域交通問題協議会事務局より説明。
  - ・内容に関する質疑応答は特になかった。
  - ・議案の通り承認された。
- (2) 第 2 号議案 平成 28 年度事業計画（案）及び予算（案）について
  - ・第 2 号議案について、南信州地域交通問題協議会事務局より説明。

### <意見>

（高森町長 熊谷元尋 様）

平成 27 年度の事業の内容には、「リニア中央新幹線開業を見据えた新たな公共交通網の基盤づくりに関する検討・研究を行う。」と記載されているが、地域公共交通が二次交通としての役割を果たす可能性があるとするれば、研究を行う必要があるため、平成 28 年度の事業内容に記載すべきではないか。

(事務局)

今年度も引き続き、リニア中央新幹線開業を見据えた研究や具体的な事業の取り組みを行うため、事業内容として記載する。

・議案の通り承認された。

(3) 第3号議案 生活交通確保維持改善計画について

ア 飯田市 (飯田市地域公共交通改善市民会議)

イ 松川町 (松川町地域公共交通対策協議会)

ウ 阿南町 (下伊那南部地域公共交通対策協議会)

エ 阿智村 (阿智村地域公共交通協議会)

オ 根羽村 (西部コミュニティバスを守り育てる会)

カ 喬木村 (喬木村地域公共交通会議)

キ 豊丘村 (豊丘村地域公共交通会議)

ク 大鹿村 (大鹿村地域公共交通会議)

・第3号議案について、各市町村の公共交通担当者より説明。

<意見>

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤 博和先生)

北陸信越運輸局の第三者評価の内容に目標値がどのように対応しているのか。目標値には、人口当たり、便当たり、総数などが考えられるが、合理的な事業目標を設定していただきたい。例えば、高校生が何人いるか、その内の何人に利用していただきたいか、健常な高齢者が何人いてその内の何人に利用していただきたいか、バス停留所沿線に高校生が30人いて、現在25人利用していただいているが、今年度は28人に利用していただきたい等の具体的な数値根拠に基づく目標を設定する必要がある。来年度申請する目標には、このような占有率等を考慮して設定していただきたい。誰に利用して欲しいか明らかにして目標を積算する。これらが明確になることで、対象者を絞った具体的な働きかけができ、国庫補助である計画推進事業を有効活用していく。

また、阿智村の目標は減少率の低下を目標としているが、目標値としては好ましくないため、高校生や高齢の人口当たりで目標値を設定する。

(事務局)

来年度の生活交通確保維持改善計画の目標設定では、昨年度の評価事項を十分踏まえたうえで検討していく。

・議案の通り承認された。

<報告事項>

(1) 平成27年度運行実績について (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(2) 定期券、バス・乗合タクシー回数券販売実績について

・報告事項(1)及び(2)について、南信州地域交通問題協議会事務局より一括して説明。

・内容に関する質疑応答は特になかった。

<意見>

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤 博和先生)

総数だけでは評価できないが、乗合タクシーの利用が減ってきている理由として、今まで利用していた方が動けなくなり、新規利用者が増えていないことが考えられる。網形成計画に位置づけられた、運転免許の促進や高齢者の新規利用者の勧誘を各地域公共交通会議の施策として進めていただきたい。

また、阿南線の利用者の減少については、単純に人口の減少による影響か、利用していただきたい方の利用が減っているのかを分析する必要がある。駒場線と比較すると、2割程度の利用者数に留まっているため、人口減少だけの影響ではないと推測される。阿南線の運行について大きな見直しを図る考えがあるか。

(阿南町)

阿南線の利用減少の要因を分析し、今後近隣町村と協議しながら運行の見直しを図っていきたい。

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤 博和先生)

人口減少だけの要因では無い場合、何が足りないのかしっかり分析する必要がある。各地域公共交通会議においてPDCAをしっかり行わないと改善が図れない。特に阿南線は地域の命綱として重要な路線であるため、減少している要因をしっかりと分析し、地域全員で検討していく必要がある。各地域公共交通会議の課題に対する意見を募る場所として、当協議会を有効に活用していただきたい。

<その他意見等>

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤 博和先生)

生活交通確保維持改善計画の目標には、前年度の目標と実績結果を記載すること。

路線の大きな再編がある場合、再編実施計画を策定し、国から認定されると大きなメリットがある。

(事務局)

各地域公共交通会議と事務局で調整を行い、来年度の目標設定を図っていきたい。

(高森町長 熊谷元尋 様)

生活交通確保維持改善計画では目標数値を掲げているが、具体的な取組施策が謳われていない。様式を見直し、欄を増やして記載できないか。

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤 博和先生)

様式としては統一されているが、人口減少や運行便数や乗継が不十分であるため、そのために何に取り組みればいいのか具体的な施策を目標・効果に記載する。路線をどう確保しどう維持しどう改善していくか記載することが重要。

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤 博和先生)

活発な地域公共交通会議をつくり上げるためのパンフレットを、事務局を通して委員へ提供させていただく。

南信州地域交通問題協議会 総会（H28. 6. 29） 出欠名簿

（敬称略）

区 分	所属団体等	委員名		代理出席者氏名		出欠
		役 職	氏 名	役 職	氏 名	
公共交通利用者 （住民代表）	飯田市地域公共交通改善市民会議	会 長	中島 雄三			○
	飯田市地域公共交通改善市民会議	副会長	佐々木 祥二			○
	高森町	上市田区長	田切 勉			○
	阿南町老人クラブ連合会	会 長	酒井 政勝			○
	阿智村	阿智村地域活性化委員長	熊谷 好泰			○
	阿智村	浪合自治会長	山口 直隆			○
	下條村	下條中学校PTA会長	佐々木 賢			○
	豊丘村	堀越区長	武田 勝			○
環境団体	地域ぐるみ環境ISO研究会	会 長	萩本 範文	多摩川精機株式会社	福岡 健志	○
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会 長	福田 富廣			○
学校関係者	下伊那地区高等学校長会 （会長：長野県風越高等学校長）	校 長	笹 行夫			○
商工観光関係者	飯田商工会議所	会 頭	柴田 忠昭			×
	長野県商工会連合会南信州支部	チームリーダー	清水 衆一			×
	南信州観光公社	代表取締役社長	高橋 充			○
公共交通事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	駅長・支店長	岩田 一高			×
	信南交通(株)	社 長	中島 一夫	旅客サービス事業部副部長	林 浩人	○
	伊那バス(株)	社 長	藤澤 洋二	松川営業所長	堀内 郁勇	○
	長野県タクシー協会下伊那支部	支部長	鈴木 佳史			○
	大新東(株) 松本営業所	所 長	田村 和信	運行支援担当	桜井 利朗	×
公安委員会	飯田警察署	署 長	市川 敏彦	交通課長	赤羽 正彦	○
	阿南警察署	署 長	荒尾 勝明	交通課長	赤羽 正彦	再掲

区 分	所属団体等	委員名		代理出席者氏名		出欠
		役 職	氏 名	役 職	氏 名	
学識経験者等	広域連合議会	議 員	吉川 秋利			×
	広域連合議会	議 員	勝野 公人			○
	名古屋大学大学院	環境学研究科都市 環境学専攻 准教授	加藤 博和			○
道路管理者	国土交通省飯田国道事務所	所 長	中平 浩文			×
	長野県飯田建設事務所	所 長	西元 宏任	維持管理課 主事	寺澤 伸	○
行 政	下伊那地方事務所	所 長	山本 智章	地域政策課 主査	森谷 隆一	×
	飯田市（南信州広域連合長）	市 長	牧野 光朗			○
	松川町	町 長	深津 徹	まちづくり政 策課長	酒井 仁	○
	高森町	町 長	熊谷 元尋			○
	阿南町	町 長	勝野 一成	総務課長	松澤 享	○
	阿智村	村 長	熊谷 秀樹	総務課 庶務 係	沖村 信繁	○
	平谷村	村 長	小池 正充	総務課長	塚田 浩	○
	根羽村	村 長	大久保 憲一	副村長	藤城 富一	○
	下條村	村 長	伊藤 喜平	副村長	宮島 俊明	○
	売木村	村 長	清水 秀樹			×
	天龍村	村 長	大平 巖	企画財政係長	斉藤 正宏	○
	泰阜村	村 長	松島 貞治	副村長	横前 明	○
	喬木村	村 長	市瀬 直史	企画財政係 主任	臼井 佑介	○
	豊丘村	村 長	下平 喜隆	総務係長	松下 浩之	○
	大鹿村	村 長	柳島 貞康	総務課長	島崎 英三	○

区 分	所属団体等	委員名		代理出席者氏名		出欠
		役 職	氏 名	役 職	氏 名	
オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局長 野運輸支局	首席運輸企画 専門官	坂本 賢一郎			×
	県企画部交通政策課	課 長	丸山 賢治	交通政策課 主任	玉井 慎一郎	○
事務局	南信州広域連合	局 長	渡邊 嘉藏			事務局
		次 長	塚平 裕			
		次長補佐兼広 域振興係長	秦野 高彦			
		主査	仲田 伸久			
		主査	倉地 浩史			
		主事	久保田 康介			